

ATR（国際電気通信基礎技術研究所）

No.	技術シーズ	特許No.	内容
1	ヒト・モノ・コトをはかるセンシング技術	特許 4512775号 特許 4847824号	・ヒトやモノの動きを計測することを主目的としたセンサで、加速度・角速度・地磁気（各3軸）等のセンサを内蔵。 ・動きだけでなく生体信号計測なども可能なハイエンドモデル（TSND151）、動きに特化・高性能化した低価格モデル（AMWS020）を提供。
2	簡単・安定な産業応用を実現するマルチダイバーシティ無線LAN	特開2022-116618 特開2022-145581	・マルチポイント通信、マルチチャネル通信、符号化伝送制御を組み入れ、製造現場のような無線通信を妨げる構造物やノイズの多い環境でも信頼性の高い低遅延無線通信を実現。 ・無線免許不要なWi-Fiをベースとしたシステムで、移動に強くエリア拡張が容易で、ドローンやAGVなどの移動体からも安定な低遅延通信が可能。
3	ワイヤフリーロボット実現に向けた無線電力伝送/通信技術	特開2022-054929 他1件出願中	・人手不足解消や生産性向上等、あらゆる分野でロボットの活用が期待されますが、そのロボットの弱点が配線です。 ・無線通信ミリ波帯を使うことで、十分な帯域を確保するだけでなく、近隣のロボットアームへの与干渉を低減します。 ・非接触電力伝送は、磁界共鳴方式を採用し、ロボットアームの関節部分で電力伝送を行います。 *弊社の知財活用だけでなく、回路やメカの試作でご協力いただける企業のご連絡をお待ちしております。
4	通信途絶環境下でも使える可搬型ローカルクラウド技術	1件出願中	・大規模災害時の電話もインターネットもない状況下で、近隣の人同士で連絡を取り合ったり情報を共有するための可搬型ローカル通信ツール：LACS（Locally Accessible Cloud System）。 ・LACSは小型コンピュータ、バッテリー、無線LAN（Wi-Fi）装置を可搬型ケースに収容した通信システムです。利用者は自分のスマホからWi-Fi機能を使ってLACSにアクセス、利用します。